

	日本映画初の女性アクションスター・志穂美悦子が語る！オンライントーク「ねりま映画サロン」第7弾配信開始！
公開日	4月30日（木）
公開URL	https://nerima-eizobunka.com/
<p>30日（木）、区は、練馬区が誇る映像文化の魅力を区内外に発信する特設ホームページ「映像∞文化のまち ねりま」の企画として、日本を代表する俳優が映画を語る「ねりま映画サロン」第7弾の配信を開始した。</p> <p>第7弾では、俳優の志穂美悦子さんにご出演いただき、アクション女優を目指したきっかけや師匠である千葉真一さんとのエピソードなどについて話を伺った。また、動画には、志穂美さんとプライベートでも親交があり、東映東京撮影所製作の映画でプロデューサーを務めたことがある残間里江子さんにもご出演いただき、3人による華やかな鼎談となっている。</p> <p>本件は、区が令和3年11月に策定した「映像∞文化のまち構想」に基づく取組であり、映画、アニメ、漫画など区の映像文化資源を活かしたイベント等を引き続き実施していく。</p>	



残間里江子氏（左）、志穂美悦子氏（中）、長峰由紀氏（右）の収録の様子

【出演者プロフィール】

志穂美 悦子（しほみ えつこ）氏

昭和30年生まれ、岡山県出身。昭和48年に「ボディガード牙」で映画デビュー。「女必殺拳」シリーズなど日本初のアクション女優として活躍。また「熱中時代」をはじめドラマ、バラエティー番組にも数多く出演し人気を集める。昭和62年、結婚を機に芸能界を退く。現在は鬼無里（きなさ）まりとして歌手、花創作家（はなそうさくか）として活躍。

残間 里江子（ざんま りえこ）氏

昭和25年生まれ、宮城県出身。静岡放送アナウンサー、雑誌編集長などを経て、フリープロデューサーとして出版、映像、大型文化イベントなど多数企画・開催する。またテレビ・ラジオのパーソナリティーやコメンテーターとしても数多くの番組に出演。

長峰 由紀（ながみね ゆき）氏

昭和38年生まれ、埼玉県出身。立命館大学文学部卒業後、昭和62年アナウンサーとしてTBSに入社。「モーニングEye」「わいわいスポーツ塾」など情報、バラエティー番組を担当した後、「Nスタ」などニュース番組を中心に出演。現在はフリーアナウンサーとして活躍。

【ねりま映画サロン】

昭和初期から現在に至るまで数多くの映画やアニメが制作される等、練馬区は映像と深い繋がりがある。区と映像のつながりや映画の魅力を伝えるため、令和2年度から、日本を代表する俳優が映画を語る「ねりま映

画サロン」をオンラインで配信している。

これまで、俳優の佐久間良子さん（第1弾）、千葉真一さん（第2弾）、仲代達矢さん（第3弾）、伊東四朗さん（第4弾）、西田敏行さん（第5弾）、北大路欣也さん（第6弾）が出演している。

【特設ホームページ『映像∞文化のまち ねりま』】

日本を代表する俳優による対談動画「ねりま映画サロン」、練馬と映像文化の関わりを紹介する連続インタビュー企画「ねりま映像人インタビュー」など、映像制作の第一線で活躍する方々に関するコンテンツを公開しているほか、「映像∞文化のまち構想」の関連イベント情報など幅広い情報を発信している。

【『映像∞文化のまち構想』】

区には、昭和7年（1932年）に向山（豊島園）に不二映画撮影所が設立されて以降、実写・アニメを問わず映像を作る環境が整っており、数多くの優れた映像作品がこの練馬の地からつくり出されてきた。区は、こうした状況を背景に、令和3年11月に「映像∞文化のまち構想」を策定し、映画やアニメなどの映像文化を活かした、ソフト・ハードが一体となった夢のあるまちづくりを進めている。

【区HP】 <https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/sougoukeikaku/20211202.html>

【問合せ】練馬区 文化・生涯学習課 文化芸術担当係 電話：03-5984-1358